

14178 基礎演習 II b Underclassmen Seminar II 14103 基礎演習 I b (後期分)		1 年次～ 後期 2 単位	
担当者	志賀 市子	履修可能学科	C必
		関連資格	
サブタイトル	「大学で学ぶ」ための基礎技術習得②		
授業内容 ・ ねらい	「大学で学ぶ」ということは、みなさんがこれまで中学や高校で身に付けてきた学び方のスタイルとは大きく異なります。中学や高校では、基本的に教科書に書いてあることを間違いなく覚え、習得していればよかったわけですが、大学では、自分で目的意識を持って、自分の学びたいこと、あるいは関心の有るテーマを設定し、自主的にそれに取り組んでいくことが求められます。大学とは、みなさん自身が問題を発見し、自分なりに考え解いていく力を養う場なのです。ですから大学の授業は、出席して講義を聴き、ノートをとっていればよいというものではありません。大学には演習（ゼミ）と呼ばれる形式の授業があり、そこでは自分でテーマを決め、図書館やインターネットやフィールドワークを通して本や資料をさがし、他の人にわかるよう発表したり、レポートを書いたりしていくことが頻繁に求められます。この授業は、みなさんが大学の4年間を無駄に過ごさないために、必要最低限の技術を身に付けることをねらいとしています。		
授業計画	基礎演習Ⅱでは、効果的なプレゼンテーションや討論の技術を学ぶために、ディベートを行う。また後半では、フィールドワークの実践として、インタビューの技術について学ぶ。各自テーマとインタビュー対象者を決め、インタビューを行い、その結果を発表し、レポートにまとめる。 第1回 オリエンテーション 第2回 ディベートのルールについて学ぶ 第3回 ディベート実践研究① 第4回 グループ分け ディベートの論題決定 第5回 ディベート準備 第6回 ディベート対戦① 第7回 ディベート対戦②	第8回 ディベート実践例研究② ディベートの論題決定 第9回 ディベート準備 第10回 敗者対戦 第11回 決勝戦 第12回 インタビューの方法について学ぶ 第13回 各自、テーマとインタビュー対象者を決める 第14回 インタビュー結果を発表する① 第15回 インタビュー結果を発表する② レポート提出	
教科書 参考書	授業中に提示する。		
評価方法	①出席 ②平常点 小レポートの提出とその内容、討論やディベートへの積極的な参加、プレゼンテーションへの積極的な取り組みなど ③期末レポート以上の3点から総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等			